第110回日本美容外科学会の開催に向けて

すべての患者様が き生きと輝くために

2022年5月27~28日に開催予定の第110回日本美容外科学会。その学会長を務めるのが、医療法人社団英僚会あき こクリニック院長の田中亜希子先生です。日本美容外科学会の学会長に女性が選出されるのは19年ぶりのこと。 歴代二人目の女性学会長である田中先生に、本学会にかける思いやシンポジウムの見どころ、そして美容外科業 界の目指すべき姿を中心に、お話を伺いました。

患者様を 技術と知識を学び合い 笑顔 に

「美しい笑顔のための美容外科」です。 2022年5月27~28日に開催する第 10回日本美容外科学会のテーマは

なる患者様をゼロにしたい。そのような らしたい。医師の不勉強が原因で不幸に 美容医療で悲しい思いをする患者様を減 に美しい笑顔を取り戻していただきたい。 ンプレックスを解消し、 ら「笑顔」を本学会のテーマに掲 すべての患者様

と思います。 術を公に語らない傾向にありました。し 容外科業界には「技術は自らだけのもの」 げさせていただきました。 かし、そのような時代は終わりを迎えた という考え方の医師が多く、 患者様の笑顔のために最新 ひと昔前の美 習得した技

社団 英僚会 1995年に東京大学医学部を卒業。 日本美容外科学会(JSAS)理事、 日本アンチエイジング外科学会 (JAAS) 理事。日本美容外科学会 認定専門医。大手美容外科副院 長、美容皮膚科部長、診療部長を 経て2009年12月にあきこクリニッ クを開院。院長に就任。2013年に は医療法人社団英僚会を設立し、 あきこクリニックの院長と兼任で理 事長に就任。第110回日本美容外 科学会の学会長を務める。

容外科学会が目指すべき姿ではないでし せていく。それこそ、これからの日本美 んなで学び、 技術・アイディアについて話し合 業界全体をレベルアップさ

役職の重みも十分に理解していただけに、 出し続けさせていただき、学会長という 若手時代から日本美容外科学会で演題を ら積極的に学会活動を行ってきました。 に美容外科医となり、 2017年の秋ごろでした。私は25年前 学会長就任のお話をいただいたのは、 女性らしい「新しさ」を前 技術を研鑽しなが 女性と 日 私

面に押し出したプログラム構成にいたし ご期待に応えられません。そのため20 の学会長と同じことをしていては皆様の して学会長に任命いただいたので、男性 は歴代二人目の女性学会長です。 本美容外科学会の長い歴史のなかで、 るのかという不安も感じております。 大変光栄な半面、このような大役が務ま

多くの方の興味を引く内容に 多角的なアプローチで

膚科や内科的なアプローチも必要でしょ ためには、外科的な側面だけではなく、皮 患者様に心から笑顔になっていただく 従来の日本美容外科学会は、 美容外

術には常に興味津々です。

本学会は、

思っています。 お越しいただけるような学会にしたいと ような内容を心掛け、 ている先生や、 もちろんのこと、これから開業を目指し 第一線でご活躍されている美容外科医は ついてのプログラムも取り入れました。 医師のキャリア形成やクリニック経営に 生をお招きし、 年度は皮膚科や泌尿器科、婦人科形成、ア 科を中心とした構成でしたが、2022 した内容となっております。また、女性 トメイクなど、 他科の先生方も楽しめる より幅広い領域をカバ さまざまな分野から先 たくさんの方々に

います。 とに生きがいを感じています。新しい技 識を学んでいただけるよう工夫を凝らし ポジストを各座長からの推薦で選出して す。私自身も知らない優秀な医師や新し 選べないため、面白みに欠けてしまいま すが、それだと私が知っている先生しか ジストは学会長である私が指名するので また通例では、登壇していただくシンポ 去にないほど多くの女性を据えまし せていただきました。特に、座長には過 してこれまでに培った技術を伝承するこ 技術を発掘したいと思い、 人選にも、私なりのこだわりを反映さ 私は美容医療について学び、 より多角的に、新たな技術や知 今回はシン

> 技術のある医師が生き残る ていると確信しています。 な私の性格を生か した面白い 内容に

健全な美容外科業界を

状です。 ために名声を得ている医師もいるのが現 師とそうでない医師の見分けが難しく クリニックや医師の存在が知られるよう で、技量は高いけれども発信が苦手な医 と発信力を備えた優れた医師がいる一方 ってきているようにも感じます。スキ になり、選択肢が増えた一方、 です。SNSの普及により、 現在、 技量は今ひとつながら発信力が高 美容外科業界は玉石混合の時 さまざま 優秀な医

師が生き残る、健全な業界になってほ ただきたいですね。確かな技術のある医 術に自信がない医師は、 ので、そこで発信する力を身に付けて SNSに関するシンポジウムもあります ど、発信に自信がない先生方は、経営と るよう研鑽を深めていただきたいと思 ら学び、正しい知識をもって施術を行え は技術が何よりも大切だと考えます。 患者様を不幸にしないためには、まず と願っています。 また、技術に自信はあるけ 私は医師人生を通じ 一流の先生方か

自費研フェスティバル 2021 にも ご登壇いただきました

昨年開催した「自費研フェスティバル2021」 では、田中亜希子先生を含む5名の女医 の先生方にご登壇頂き、第110回日本美 容外科学会のコンセプトや意気込みにつ いてお話し頂きました。5月の開催に期待 が膨らむ、華やかなステージとなりました。





えていきただき、 これまでたくさんの先生方から多くを教 ていただければ、 ま、そして美容医療業界に恩返しをさせ した。今度は私が本学会を通じて、 成長することができま と思っています。 皆さ

05 自費研十 plus VOL. 33 / MARCH. 2022 04